

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 7 日作成)

委員会名	設計の情報化小委員会	主 査 名：榊原克巳
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会	委員長名：河村 廣
設 置 期 間	2001 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	設計コミュニケーションの高度化技術を調査研究テーマとする小委員会で IT 化の進展に伴う設計上の諸問題を把握し、学会のみならず、J I A や日事連、B C S 等の活動とも連動して有効な解決策を提案、啓蒙活動を行うことを目的とする。小委員会のもとに以下の 3 WG を置き、WG の活動を中心にして、設計実務に密着した調査、研究を進める。	
委員構成 (委員名(所属))	榊原 克巳(グラフィソフト、前日建設)、中元 三郎(安井建築設計)、山脇 陽治(大林組)、山口 重之(京都工芸繊維大)、加賀有津子(大阪大学)、本江 正茂(宮城大学)、鈴木 尚(山下設計)、増村 昭二(日本設計)、山尾 和広(清水建設)、玉井 洋(鹿島建設)、新井 進(竹中工務店)、猪里 孝司(大成建設)、瀧澤 博司(コアシステムデザイン)、丸田 睦(パスプラスワン)、大宮 裕之(ダイテック)	
設置 WG (WG 名：目的)	設計情報化実態調査WG (CAD 化実態アンケート調査)、 設計先端利用技術調査WG (先端 IT ツールの調査および実用可能性の検討)、 データ流通ガイドライン作成WG (契約案のガイド作成)	
2004 年度予算	190,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	・ 4 / 15、4 / 22、6 / 21、6 / 22、7 / 6、8 / 6、9 / 2、9 / 7、9 / 16、10 / 12、10 / 14、10 / 21、10 / 28、11 / 11、11 / 25 小委、WG 参加者 7 ~ 10 名
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道大会研究協議会「ユビキタス社会における建築と情報の新しいかたち」および「建築設計の情報化、手綱は引くべきか」の原稿 ・ 「建築雑誌」9月号。“いま伝えたいトピックス 設計業務を拡張する新しいITツール”へ原稿 ・ 第27回情報・システム・利用・技術シンポジウムの特別講演会『3次元CADの導入、他産業での変革のポイントは - その手法は建築においても採用できるか - 』の開催 ・ 第10回建築CAD利用調査報告書(アンケート実施と報告書作成) <p>委員会 HP アドレス：</p>
目標の達成度	<p>(当初の活動計画と得られた成果との関係)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設計ツールとしての会員の関心が2次元CADから3次元CADへと変わってきており、それに対する情報提供を適宜行えた。 ・ 引き続き3次元CADのテーマを追求すべく、設計に加え、生産の情報化もテーマに加えた小委員会およびWG 設置を検討し2005年度よりの活動申請を行い承認された。
その他評価すべき事項	